

M125S・技術資料

H21.03.21



〒721-0956 広島県福山市箕沖町 105 番 7
☎ (084)954-1751 Fax 954-4520

製品名 既調合セメントモルタル

商品名 プレミックスモルタル **M125S**

用途 超早強セメントモルタル

荷姿 NET 25kg (クラフト紙2層防湿ポリ 15 μ 1層)

品質保持期限 製造日より6ヶ月(製造日は袋表に和暦印字・例/平成21年3月21日=210321)

標準仕様
標準使用量 74袋/m³
加える水の量 3.6~3.8 $\frac{\text{リットル}}{\text{袋}}$
一袋の練混ぜ容積 13.6 $\frac{\text{リットル}}{\text{袋}}$

製品規格
結合材 早強ポルトランドセメント
骨材 加工砂(花崗岩砕砂・3mmアンダー)
混和剤 高性能減水剤他
NET 25kg-0+0.75kg(-0+3%)
有害物質 石綿を始め、特定有害物質は混和していない

項目	品名	製造所	配合割合
結合材	早強ポルトランドセメント	太平洋セメント(株)	28.4%
骨材	加工砂(花崗岩砕砂)	中国物産(株)	71.0%
混和剤	蟻酸カルシウム		0.6%
	高性能減水剤		0.1%
合計			100.0%

試験項目	単位	試験結果			記事、試験方法
W/A	%	15.4			7ヶ月平均値
W/C		50.2			
フロー値	mm	183			JIS R 5201
単位容積質量	kg/ $\frac{\text{リットル}}{1000}$	2.108			JIS A 1171
塩化物含有量	kg/m ³	0.069			理研計器 塩分濃度計 CL-1B
材令		3日	7日	28日	JIS R 5201
曲げ強さ	N/mm ²	6.3	7.7	8.85	
圧縮強さ		36.6	45.9	54.4	

標準施工方法

1. 下地処理

- ①表面に付着しているレイタンス、汚れを除去します。劣化（中性化）した表層も同様に除去し、健全な下地を出します。
- ②丁寧に掃除し十分に水湿しします。水湿しは塗付けたモルタルが接着界面でドライアウトして接着不良となることを防ぐためです。
シーラー、プライマーで代用する場合は用いる樹脂の仕様に従います。

2. 練り混ぜ

- ①練まぜに用いる水は清浄な水（飲料水かそれに準ずるもの）を用いて下さい。
- ②水以外の物を加える場合、弊社と混和材（剤）メーカーに問い合わせた上でお使い下さい。
又、他の既調合モルタルとは絶対に混ぜ合わせないで下さい。
- ③練り混ぜは本製品をモルタルミキサーに入れ、ミキサーを回転させながら清浄な水を所定量加え、希望する軟らかさになる様、本製品と水の量を調整してむら無く練り混ぜます。
少量を使う場合はパール缶等の練り容器に、先に所定量の水を入れ、本製品を2～3回に分けて入れながらハンドミキサーで練り混ぜます。
※練混ぜる水の量は品番の仕様をご参照下さい。
※希望の軟らかさにするには加える水の量を加減して下さい。
※加える水の量は事前に試験し、定量化すると安定したモルタルが得られます。
- ④練混ぜたモルタルは1時間以内に使い切ってください。
水を加えての練り返しや、練足しはモルタル本来の性能を低下させます。

3. 施工

塗付けは下地との接着を確実にする為に鍔圧を掛けながら下ごすりし、続いて所定の厚さまで塗り付け、モルタルの締め具合をみながら鍔で押さえて仕上げます。
一度に塗付ける厚さは壁で10mmまで、床で30mm以上を目安とします。付け送りする場合はレイタンスが出ない様、鍔押さえし、櫛目をかいておきます。
又、付け送りする場合は1週間以上養生した上で施工して下さい。

4. 養生

施工が完了したら乾燥や凍結を防止し、適温・適湿な状態で8時間以上養生します。
8時間後には歩行出来ます。

5. 注意事項

施工方法、施工条件、養生によって強度の発現に相違があります。又、クラックやエフロが発生することもあります。

注意事項

運送

1. 袋が破れない様に取り扱って下さい。
2. 水に濡れない様に乾いた荷台に載せ、防水シートで覆って運送して下さい。

保管

1. 水に濡れない、乾燥した倉庫に保管して下さい。
2. 床面から湿気が上がる恐れのある場合は、床面に防水シートを敷いて下さい。
3. 万一袋が破れたら速やかに防湿袋に入れて下さい。

廃棄

廃棄するモルタルは硬化させた上で産業廃棄物として処理して下さい。

取扱

本製品は早強ポルトランドセメントを主要結合材とした既調合モルタルで、粉塵がたち易く、水に濡れると強アルカリ性を示します。取扱に際しては保護具（保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋等）をご着用下さい。若し、皮膚に付着した時は直ちに大量の水で洗い流して下さい。万一、眼に入った時、吸引した時、飲み込んだ時は直ちに洗浄等の応急処置を施して速やかに専門医の診察を受けて下さい。